

# 協会の活動

発行:一般社団法人栃木県老人保健施設協会広報委員会

## 平成28年度 第1回職員研修会が開催される

- 日時：平成28年10月6日(木) 9時50分～15時10分
- 会場：パルティとちぎ男女共同参画センター  
(宇都宮市)

台風一過の秋晴れの中、研修委員会による「第1回職員研修会」が、パルティとちぎ男女共同参画センターで開催されました。

県内各地から36施設142名の職員が参加し、研修委員会委員長あいさつの後、13施設15事例の発表が行われました。

### 【事例発表】

- ①「通所リハビリテーションにおけるレクリエーションのマンネリ化の解消」  
～アンケート調査結果に伴う新たな取り組みとその効果～  
【あそヘルホス】
- ②美肌を目指して～なぜなくなる皮下出血～  
【春祺荘】
- ③いきいきした生活を送れるように  
～レクリエーションを通して心身の充実を図る～  
【春祺荘】
- ④褥瘡をつくらない!! ～多職種連携の試み～  
【宇都宮シルバーホーム】
- ⑤業務の見直しを行って～統一に向けての第1歩～  
【さくら野】

⑥施設感染ゼロを目指して！

【グリーンヒルズ21】

⑦ココナッツオイル（中鎖脂肪酸）の効果 【陽南】

⑧笑いヨガで毎日をハッピーに！ 【陽南】

⑨笑いを取り入れた口腔体操の実施 【しらすぎ荘】

⑩職員のストレス軽減のための取り組み 【かみつが】

⑪老健施設における生活リハビリの重要性について  
【晃南】

⑫感染源になりたくない！

～ピュアミスト使用方法を見直して～

【いずみ】

⑬家に帰りたい

～口から食べること＝活動・参加の拡大～

【お達者倶楽部】

⑭高齢者・認知症利用者への紅茶の有効性

～発語とDBDの変化～

【同仁苑】

⑮白ゴマ油を用いた口腔ケアの実際

【野沢の里】

レクリエーションや認知症予防、感染予防など介護老人保健施設として必要不可欠なテーマを、自施設での事例を踏まえ発表されました。

今回は宇都宮短期大学人間福祉学科の学生も参加され、会場からは活発な質疑応答があり、各施設職員の質の高さやサービス向上のための取り組みへの熱意が感じられました。

